



国語学

2016年度 駒場進学ガイダンス資料
文学部言語文化学科
日本語日本文学(国語学)専修課程
国語研究室

国語研究室ってどんなところ？

国語学って…？



短く言うと、**国語**、すなわち**日本語**について考える学問です。「日本語」と一言と言っても、その扱う領域はとても広く、授業の内容も多種多様。たとえば、今年度の授業内容を見てみると……

- ▼古代日本語の特質および由来
- ▼奈良時代から鎌倉時代にかけての日本語
- ▼漢文訓読の歴史
- ▼コミュニケーションと日本語文法
- ▼方言の地域差の実態とその要因
- ▼漢字音から見た日本語音韻史
- ▼視点についての文法研究 などなど。

私たちの身近にある「日本語」に関する全ての「疑問」が、「国語学」の対象になるのです。

国語学専修課程では、3人の先生方がそれぞれの研究成果に基づいて授業を展開されており、またさらに他大学の先生も講師としてお招きしており、多くの先生方のもとで、幅広く「国語学」を学ぶことができます。

研究室って…？

我らが国語研究室は、法文2号館3階の角部屋にあります。歴史を感じさせる建物で、部屋には、壁をびっしりと埋め尽くすたくさんの本。学生が使えるパソコンもあって、勉強の環境は整っています。

研究室には事務補佐員さんがいらっしやって、授業のこと、学校のことなどもいろいろと教えて下さいます。また、今年からは助教さんも加わり、授業や学業に関する助言や手助けをして下さいます。そんな方々も含めて、学部生も院生も、外国人研究生も先生方も、みんなが研究室に出入りしているので、たくさんの人と触れ合うチャンスがあります。

研究室に入るのは、最初はちょっとだけ緊張しますが、特に用がなくて「何となく来てみた」でもかまいません。早く研究室に慣れるためにも、ぜひ気軽に足を運んでみてください。

このように、アットホームな雰囲気とアカデミックな環境を併せ持つ国語研究室ですが、いいところはまだまだあります。例えば、学生の数は少なすぎず多すぎず、程よい人数です。仲良くなりやすいですし、また学生数に対して先生の数が多いので、卒論などについて手厚く指導を受けることが出来ます。

また勉強に限らず、みんなが不安な就職活動についても、研究室主催のOB交流会などのサポート体制が整っています(詳しくは後述)。



時間割・授業紹介

春学期

※色つきの枠は必修科目

	月	火	水	木	金
1					
2			国文学特殊講義 『万葉集』の系譜学 鉄野先生 ★4		
3	国語学概論 日本語学概説 井島先生 ★1		国語学演習 古代語彙研究 肥爪先生	近代文学特殊講義 千田先生 ★5	国語学特殊講義 現代語のモダリティ 井島先生
4	国語学演習 副詞研究 井島先生 ★2	国語学特殊講義 漢文訓読の歴史 月本先生 ★3	国語学特殊講義 子音の諸問題 肥爪先生		中国語学概論 佐々木先生
5		国語学特殊講義 漢字・表記研究 笹原先生 ★7			国語学特殊講義 事態結合表現の研究 沼田先生

秋学期

	月	火	水	木	金
1					
2	国語学特殊講義 上代語の諸問題 沖森先生		言語学概論 林先生 西村先生 小林先生 ★6	言語学概論 林先生 西村先生 小林先生	
3	国語学概論 古代語から近代語へ 肥爪先生		国語学演習 古代語彙研究 肥爪先生	社会学特殊講義 伊藤先生	国語学特殊講義 古典語のモダリティ 井島先生
4	国語学演習 副詞研究 井島先生	国語学特殊講義 漢文訓読の諸問題 月本先生			言語学特殊講義 小木曾先生
5		国文学特殊講義 総合日本文学研究 藤原先生	国文学特殊講義 平安時代の和歌の研究 高木先生		
	集中講義 国語学特殊講義 方言研究の諸問題 小林先生 ★8				

- ★1…「国語学」という学問全体を眺め、様々な問題を幅広く紹介するのが概論。必修で、出席重視。期末試験での評価です。
 - ★2…演習は、一方的に先生の話聞く講義とは違って、学生の発表に基づいて、出席者同士で意見を交わすものです。発表の準備はかなり大変ですが、その中で身につける調査の方法や考え方が卒論の作成にも直結します。出席はもちろん、積極的な発言が求められます。履修登録は半年ごとですが、実質的には通年で取ることになります。
 - ★3…各先生の専門分野が題材となるのが特殊講義。内容も評価方法も、先生により様々です。
 - ★4…国文学の講義も取る必要があります。古代・中世・近世・現代の各時代ごとに、講義が用意されています。
 - ★5…文学部の他の専修課程の講義です。これは他学部単位の36単位に含められます。(下部「その他」参照)
 - ★6…言語学の授業も必修になっています。水曜・木曜セットでの履修が必要です。2年生の4学期から取れるので、早めの履修をおすすめします。
 - ★7…他大学の先生の講義もあります。著名な方々の講義を生で聞くチャンスです。
 - ★8…遠方の他大学の先生の講義は、集中講義になることも多いです。集中講義期間は、基本的に春学期は7月末、秋学期は12月中旬となっています。4日間くらい朝から夕方まで講義を受けるので、なかなか大変です。
- その他** ここに挙げた例では文学部の講義ばかり取っていますが、もちろん他学部の授業も取れます。国語学専修課程では他学部単位の36単位まで認められるので、専門以外に自分の興味のある授業もたくさん取ることができます。また必修ばかりに見えますが、これら全ての授業を必ず取る必要があるわけではなく、例えば概論なら「国語学概論」という名前の授業を卒業までに4単位取ればよい、というような具合です。その中でも特に 色 の授業は確実に取るべきもので、色 の授業は取れば必修単位の数えることができるものです。

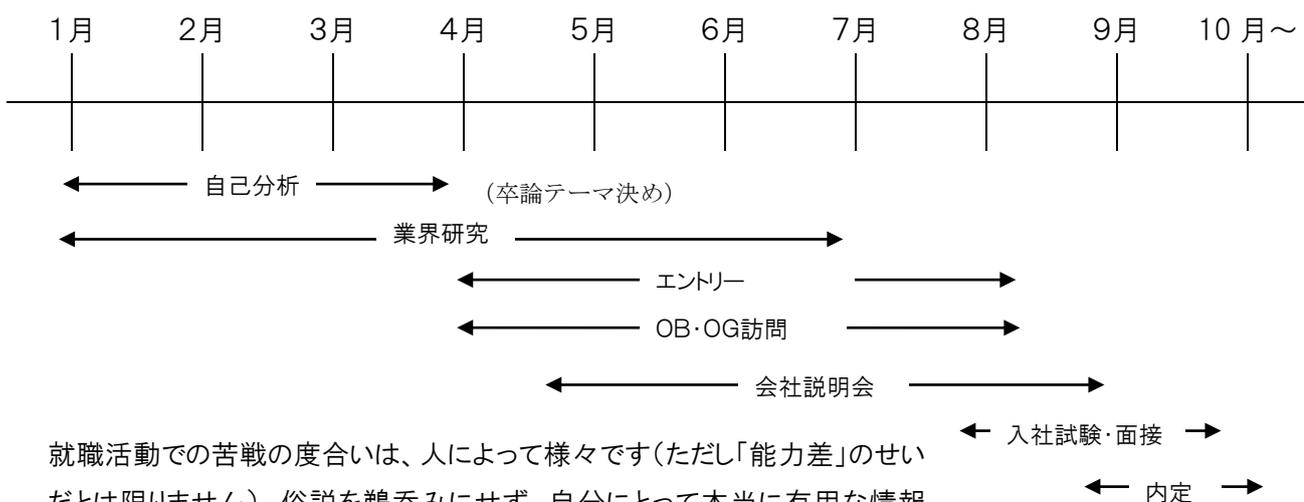


就活に向けて

国語研究室卒業生の多くは、学部卒で就職します。卒業生の働く業界は、「国語学」という枠には全く縛られず、様々です。裏を返せば、**国語研究室の卒業生は、あらゆる業界・職種で活躍しています。**

ここでは、皆さんにとって大きな関心事である就職活動について、**大まかな流れ**を示し、国語研究室がほぼ毎年行っている「**就活対策交流会**」についても説明します。

就職活動の大まかな流れ(※説明会、面接解禁日は年によって異なります。例は16年卒のもの)



就職活動での苦戦の度合いは、人によって様々です(ただし「能力差」のせいだとは限りません)。俗説を鵜呑みにせず、自分にとって本当に有用な情報を、自分で動いて直接手に入れることが重要です。

座談会 ～就活ってどんな感じ?～

就活について、昨年度卒業された国語研究室の先輩方3人にインタビューしてみました。(学年は当時)

Aさん: 4年 商社内定

Bさん: 4年 メーカー内定

Cさん: 修士2年 マスコミ内定

・就活に手を付けた時期と進め方

Aさん: 部活が忙しく、12月からスタート。広く業界を見て、2月頃から徐々に絞った。面接の時期が早い外資などを受けることで、面接に慣れるようにした。また部活の先輩を通じてOB訪問をして、その際に面接の練習をもらった。

Bさん: 3年の8月からインターンに参加して、企業の雰囲気に着かれてそのまま第一志望に。その他の企業についても業界を絞らず説明会に参加していき、業界でなく会社単位で雰囲気が自分に合っているかどうかを重視して選んだ。

Cさん: 修士1年の夏から様々な業界のインターンに参加した。会社によっては採用に繋がっているところもあるほか、社の雰囲気を直に感じられ、社員に顔を覚えてもらうというメリットもある。マスコミ・出版・コンサルなどを中心に受けた。

・エントリーシート（ES）や面接のポイント

- Aさん:20 社程度提出。自分の書いたESを見直して、想定される質問をある程度考えるが、用意した文章にこだわって棒読みになると伝わらないため、多少詰まっても臨機応変に返答することが大切。説明会で「どういう人がこの会社に向いているか」など社員の発言を拾ってきて、それと自分の特性を結びつけてアピールした。
- Bさん:10 社弱提出。ESの内容を読み返して、どう話を膨らませるか想定。思いついたことを普段から書き溜めておき、面接の際のキーワードにした。また質問への返答内容よりも、「一緒に円滑に仕事を出来るか？」ということを見られていると意識した。
- Cさん:20 社弱提出。出版やマスコミはESの分量が多く、苦勞した。面接では笑顔が重要。どういう行動をとるのか、というポイントを見られている。東大生は真面目な印象を持たれているので、むしろ堅い印象を与えずにしないようにした方が好印象。あえてESに書いていないことを話したり、面接の段階が進むごとに自己紹介に変化をつけたりすることで、幅の広さをアピールした。

・就活で大切なこと

- Aさん:人に頼ること。会社について、自分の考え方・見方だけだと一面的になってしまうので、実際に働いているOBの方々と話して合致しているかどうか確かめる。結局は自分に合っている会社にかかるので、落ちても気にしないのが大事。合わない会社に入っても後悔することになる。
- Bさん:就活で会った人と一緒に飲むなどして、情報交換と同時に気分転換をすること。同じ境遇の人と辛さを分け合うことも大切。また、自分で見てきたことが大切なので、ネットの情報などに惑わされず、マイペースを維持する。内定はご縁なので、焦らない。
- Cさん:早めに内定をもらっておくと気持ちが楽になり、また「勝ちパターン」のようなものも掴みやすい。説明会で積極的に発言することも大切で、説明会から社員懇談会、面接まで、全ての段階で人事に見られているという意識を持つこと。東大生の中には就活へのモチベーションが低い人がいるので、積極的になる必要がある。

・その他

- Aさん:業界が同じでも、会社によってカラーが全く異なる。それぞれに合わせたアピールが必要。
- Bさん:本社が地方にある企業などは、面接を受けに行くだけでも疲れるので大変だった。
- Cさん:院生だから就活で不利というのは感じなかった。マスコミ・出版・コンサルなどは大学院出身者が多く、むしろ有利な所も。

また以前の卒業生で公務員になられた方からのアドバイスもありますので、併せて掲載します。

■公務員志望者へのアドバイス

僕は地方公務員が第一志望でしたが民間の就活もしました。民間の面接の始まりは4月で、公務員試験は早くても8月くらいまで結果が出ないので、かなり長い就職活動になりました。民間と公務員を併願する人はモチベーションの維持を頑張ってください。

公務員志望の人に伝えておきたいことは2点です。1点目は、公務員志望の人でも民間の就活をすべきだということ。2点目は、OB・OG訪問は必ずすべきだということです。

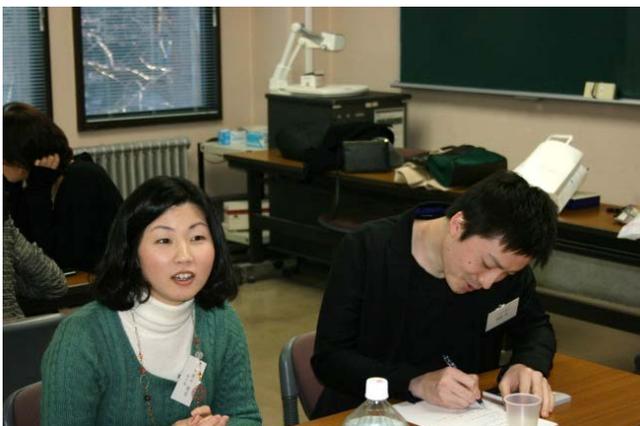
理由も2点あります。1点目は、公務員試験では筆記試験が目立ちますが、面接試験のウェイトはかなり大きく、これからさらに大きくなるのが予想されるからです。民間の就活は面接の練習になりますし、働く事の理解にOB・OG訪問は欠かせません。2点目は、公務員になってしまえば、民間の方の話を聞く機会は少なくなるからです。視野の広さを保ちたいと考えるならば、この時期に民間の方の話を積極的に聞き、関係を作っておくのに越した事はありません。

就活対策交流会

国語研究室では、卒業生の方々を学校にお招きして、「**就活対策交流会**」を開催しております。年によって変わる就活の解禁日や卒業生の都合を考慮して、開催時期が選ばれています(14年度は2月末)。

就活対策交流会では、**実際に社会に出て働く卒業生の方々に**、学生にとってあまり実感の持てない「就職」や「仕事」についての直接的なお話をしていただいたり、学生の持つ素朴な疑問から難しい相談まで、丁寧に聴いて、答えてくださいます。伝統ある少人数の研究室だからこそ、先輩方も私たち後輩のために、親身になって役立つ情報を教えてくださいます。この場をきっかけに卒業生がOB・OG訪問の機会を準備してくださることもあるので、孤独になりがちな就活生にとっては、この上なく価値の高い場です。

学校の教室での座談会の後は、飲み会が開かれます。公務員から理系の職業まで、あらゆる職種の卒業生がいるので、**視野を広げるチャンス**となります。卒業生にとっては、同窓会的な位置づけのようです。





国語学研究室 Q&A

Q 卒論を書かなければ卒業できないの？

A 卒論あるいは特別演習のいずれかが必須です。どちらを選ぶかは自由です。

どちらも大変ですが、それはどの学部でも同じことです。特別演習を選んだ場合は、二人の先生からそれぞれ課題をもらい、それをこなす必要があります。どちらが楽かは一概には言えません。卒論を選ぶ場合は、3年生の演習などを通して、テーマを考えておくといいでしょう。先生方が熱心に相談にのってくださいます。大学院または教員志望の場合、基本的に卒論が求められるので、注意する必要があります。

Q 大学院への進学率は？

A 毎年1～2名程度が院に進んでいます。

大学院は、国語学と国文学が、日本語日本文学専門分野という1つの組織を構成しています。大学院への進学を考えている場合は、院生や先生方にあらかじめ相談してみるとよいでしょう。

Q 大学院って学部とどう違うの？

A 学部比べて拘束される時間は減ります。その分、自主的に研究を進める必要があります。

学部時代よりも必要な単位数は少ないので、「授業」という形で拘束される時間は減ります。一方、自分自身でしっかりと計画を立てて研究を進めていくことが求められるので、決してヒマにはならない、ということです。とはいえ、毎日研究だけでは行き詰まるので、うまくガス抜きしながら進めていくことが重要です。

Q 大学院を卒業した後の進路は？

A 研究者になる人がいるのは勿論ですが、就職する人もいます。

確かに大学院といえば研究者ですが、出版社、広告会社、私立中高など、大学院で学んだ専門を生かした職に就く先輩も多いですし、システム系など専門とは無関係な職に就く人もいます。ただ、大学院への進学を希望している場合、教員免許を取得しておくのが一般的です。

Q 中高の国語教員に興味があるんですが…。

A 中学と高校両方の免許を取得しておくのが理想的です。

国語科目と教職科目の単位がそれぞれ必要で、国語研究室では前者を必修単位に、後者を他学部の単位に含めることができるので、それほど大変ではありません。ただし、教職科目は量が多く、教育実習等は負担も大きいので、計画的に履修していく必要があります。また、研究室に来る国語科教員の求人は中高一貫校からのものが多いので、中学と高校両方の免許を取得しておくのが理想的です。

Q 文学部は就職で不利って本当？

A 嘘です。基本的に何のハンデもありません。

「文学部は就職で不利」というのは、遠い過去の話です。今は、本人次第で業種・職種ほとんど関係なく就職できます。よほど専門性の高い職を志望するのでなければ、学部で有利になったり不利になったりすることはないというのが現実で、むしろ人物本位、将来性本位です。また、国語研究室では「就活対策交流会」という卒業生との交流会を毎年実施しています。詳しくは、「就活に向けて」のページをごらんください。